

# 川や湖を汚している主な原因は



河川・湖・海などの汚染が社会的な問題となっていますが、一般家庭から排出される生活排水による汚れが、その大きな原因といわれています。

水質汚濁の原因として、生活排水の占める割合をみると、東京湾では69%、伊勢湾では54%という高い割合になっています。

生活排水は、一般家庭の生活で使われて排出される汚水で、その中に含まれる汚濁物質の量（BOD量）は約40g（一人一日当たり）とされています。40gの内訳は、水洗便所汚水が13g、生活雑排水（台所・風呂・洗濯などの排水）が27gです。

生活雑排水の中でも台所排水は18gもあり、便所汚水より汚れの量が多いのです。

台所でお碗一杯のみそ汁を流すと、魚がすめるほどの水質にするためには、浴槽3.5杯分（浴槽1杯分300ℓ）の水を必要としますし、煮汁500mlを流すと浴槽26杯もの水が必要となります。

河川や湖などの水質を保全するためには、水を汚す大きな原因である生活排水の処理対策を進めることが大切ですが、その切り札として注目され、期待されているのが合併処理浄化槽です。



# 生活排水

河川や湖の水質と比較して  
家庭排水の汚れを知りましょう



\*綾瀬川は汚濁が進んでいる川の一つです

生活排水(住宅汚水)の標準的な水量と水質  
(一人一日当たり)

排出源	汚水量 (ℓ/人・日)	BOD		
		負荷量 (g/人・日)	濃度 (mg/ℓ)	
便水	便所	50	13	260
生活 雑排水	台所	30	9	75
	洗濯	40		
	風呂	50		
	洗面	20		
	掃除機用	10		
計		200	40	200

(財)日本環境整備教育センター編「浄化槽の維持管理」より

## 水質汚濁の指標「BOD」

Biochemical Oxygen Demand. 生物化学的酸素要求量

水中の有機物が微生物の働きで分解されるときに消費される酸素の量のことでmg/lで表します。有機性の汚れが大きければそれだけ酸素要求量が多くなるため、BODは大きな数字になります。逆にきれいな水はBODの値がそれだけ小さな数字になります。